



## 第2回 先進的工学教育講演会のご案内

「徳は才の主にして、才は徳の奴なり」。(総長:一昨年の入学式式辞「菜根譚」の一説より)  
 ここで教育の現場におけるITを才とたとえてみては如何でしょう。才ありて徳無きは、つまり、ITの裏に教育の思想がなければ魍魎が暴れ狂うことになるということです。  
 これまでにも多くのIT教育が思想無きゆえに失敗しています。このたび講演を行うMarcia Linnは、多くのサイバーラーニングイノベーションが成功していないのは、教育学と調和していないからだという主張を長年繰り返しています。東大生に国際化が求められ、知の共創(総長:行動ビジョン)が求められる現在、スタンフォード、UCバークレーでIT教育をリードしてきたMarcia Linnの思想は私たちをインスパイアしてくれるに違いありません。

### ICTを用いた教育における Pedagogy (教育論)

日時:2011年11月15日(火) 15:15-16:45

場所:東京大学本郷キャンパス 工学部2号館 212講義室

15:15 開会 司会 **森村久美子**准教授 バイリンガルキャンパス推進センター国際化推進部門長  
 開会の挨拶 **鈴木真二**教授 バイリンガルキャンパス推進センター長

15:20 - 16:20 基調講演 **マーシャ・リン**教授 カリフォルニア大学バークレー校 教育学研究科

#### 「ICTを用いた教育におけるPedagogy(教育論)」

工学教育をITでサポートするというテーマは語られて久しいのですが、必ずしも成功へと導かれていないのは、その裏に教育学(Pedagogy)的な裏付けが欠けていたからではないでしょうか。

科学的事象の可視化や学生の活動のログを取るThe Web-based Inquiry Science Environment (WISE) はMarcia Linnが長年行ってきたCyber Enriched Lifelong Learning Systems (CELLS)の一つの例です。サイバーラーニングイノベーションが往々にして失敗するのは教育システムと調和していないからです。

デザイナー、実行者、研究者にバリューを持たせつつ、Pedagogyとテクノロジーが発達すれば、CELLSは科学教育者集団を動かすでしょう。

16:20 - 16:45 質疑応答

16:45 閉会

### 無料

参加申込を  
して下さい

#### お問い合わせ先

東京大学大学院 工学系研究科 国際工学教育推進機構 バイリンガルキャンパス推進センター

tel:03-5841-8800

E-mail:secretary-esp@t-adm.t.u-tokyo.ac.jp